



太宰府市ワンヘルス推進宣言

新型コロナウイルス感染症をはじめとする人獣共通感染症は、人口増加、森林開発や農地化等の土地利用の変化などから、人による地球の生態系に影響を及ぼす行為が繰り返され、気候変動の一因となったこと等によって動物と人との生存領域が変化したことから、動物の感染症に対する抵抗力を保有しない人にも感染するようになったとされている。

このような状況から、人獣共通感染症を予防するためには「人と動物の健康及び環境の健全性はひとつのもの」とすることが必要とされる「ワンヘルス」の理念が、世界中で広がりを見せている。

悠久の歴史と豊かな自然環境を有する本市では、令和の都として元号の名のとおり美しい調和を基調としながら貴重な史跡や文化財の保護に努めており、また、平成2年に「太宰府市環境基本条例」を他市に先駆けて制定し、生物多様性の保全、地球温暖化対策をはじめとするワンヘルスの理念に沿った環境まちづくりに先進的に取り組んでいる。

福岡県では、令和3年1月に「福岡県ワンヘルス推進基本条例」が公布、施行され、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るための6つの課題について取組の基本方針を定めており、これを具体化するための県行動計画の策定も進められている。

本市は、人と動物の健康と環境の健全性を一体的に守るワンヘルスの理念のもと、下記の事項に取組み、ワンヘルスを推進することをここに宣言する。

記

- 1 ワンヘルス実践（人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るための6つの課題への取組）の基本方針を具体化する福岡県行動計画に連携協力するとともに、ワンヘルス実践施策を推進する。
- 2 市民へのワンヘルスの周知に努め、理解の促進を図り、その実践活動に対し、必要な支援を行う。
- 3 自然とのふれあいを通じて、ワンヘルスに係る活動や行動を学び、体験することができる「ワンヘルスの森（福岡県立四王寺県民の森）」の利用促進に協力する。

令和4年3月22日

太宰府市長

楠田大蔵